日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY

実践能力を高める
医療ソーシャルワーク基礎講座

申込み受付中!

現場に活きる、実践の力を。

急激な少子高齢化・医療法改正・診療報酬改定等、
医療を取り巻く環境が急変するなか、本講座は
新人MSW（医療ソーシャルワーカー）が早期に習得すべき基礎を、
実践と成長の両面から学べる内容として構成しています。



対象者 新人医療ソーシャルワーカー、医療ソーシャルワークに関心のある方等

受講期間 購入日から5ヶ月間

受講料 16,000円（税込）

受講形式 全8回（1回45分）オンデマンド配信

申込み QRコードまたは日本福祉大学のホームページから

日本福祉大学　実践能力を高める医療ソーシャルワーク基礎講座

日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY

実践能力を高める
医療ソーシャルワーク基礎講座



現場に活きる、実践の力を。

カリキュラム（全8講）

第Ⅰ部 医療福祉に関する課題と支援

第1講	講師：日本福祉大学 林 祐介 身寄りがない患者への支援の現状と課題 ～医療ソーシャルワーカーの視点から～	第2講	講師：日本福祉大学 山口 みほ 依存症者・家族支援におけるソーシャルワーク
第3講	講師：日本福祉大学 上山崎 悦代 医療ソーシャルワーカーがつなぐ多職種・多機関連携	第4講	講師：国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 坂本 はと恵 終末期ケアにおけるソーシャルワーク
第5講	講師：神戸学院大学 伊藤 隆博 災害時におけるソーシャルワーク	第6講	講師：名寄市立大学 榊原 次郎 予防からはじめる医療ソーシャルワーク

第Ⅱ部 医療ソーシャルワーカーとしての自己を育てる方法

第7講	講師：日本福祉大学 保正 友子 医療ソーシャルワーカーの成長過程とセルフケア	第8講	講師：日本女子大学 赤澤 輝和 医療ソーシャルワーカーの実践を深める研究の視点



日本福祉大学
保正 友子

監修者・担当講師よりメッセージ

新しい時代に確かな実践能力を！

2026年3月に「医療ソーシャルワーカー業務指針」が全部改正されました。時代の要請をうけた標準的な業務範囲や方法を示し、医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）の資質向上を目指しています。移り変わる医療・福祉領域の課題に対応するため、MSWには確かな実践能力の習得が求められています。本シリーズでは主として新人MSWを対象にし、MSWにとって必要な実践能力の基礎を8つのテーマに沿って展開します。また新人に留まらず、MSWを目指す人、中堅期以降のMSW、機関の管理者にとっても、MSWをめぐる現代的テーマを学ぶには適したコンテンツだと考えます。本シリーズにより、新たな学びの第一歩を踏み出しましょう。

この講座で身につくこと！3つのポイント

1. 医療・福祉領域の課題を理解し **適切に対応する力**
   身寄りがない患者、依存症者・家族支援、終末期ケア、災害時や予防におけるMSWの支援のあり方について学びます。
2. 多職種・多機関と **円滑な関係性を構築する力**
   多職種・多機関連携とは何かを理解し、医療・福祉領域の課題において誰と連携するべきかについて学びます。
3. 専門職として **自己を育て続ける視点と姿勢**
   MSWの成長過程とそこで必要なセルフケアを学ぶとともに、今後ますます求められる実践研究の大切さについて学びます。

お問い合わせ
日本福祉大学FUKUSHI ACADEMY（企画事業室）
MAIL：recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp　TEL：052-242-3069　FAX：052-242-3020